

「口腔機能向上」への取り組みに関するアンケート

平成18年度に予防重視の介護保険制度が導入され、「口腔機能向上」の介護予防の取り組みとして位置づけられましたが、福岡県内で口腔機能向上サービスを実施されている事業所はまだ少ないようです。

そこで今回、福岡県歯科衛生士会は厚生労働科学研究の一環として介護予防サービスを提供しておられる施設の方々にご意見を伺うことで、どのように口腔機能向上に取り組まれているか実態を把握し、口腔機能向上サービスの人材育成や普及に活かしていく手がかりとしたいと考えアンケートを企画しました。

本アンケートは無記名によるものです。ご回答いただいたご意見につきましては、すべて統計的に処理いたしますので、事業所名や住所が公表されることはございません。

つきましては、お仕事でお忙しいこととは存じますが是非アンケートへのご協力をよろしくお願い申し上げます。

【ご記入に際してのお願い】

- 1) お答えは、あてはまる番号を○印で囲んでいただくか、□内にご記入ください。
- 2) ご記入は、質問の番号や指示にそってお願いします。
- 3) ご記入は、鉛筆または黒・青のペン、ボールペンでお願いします。

●貴施設についてお聞きします。

F 1. 貴施設の所在地をご記入ください

市	区
郡	町・村

F 2. 貴施設の事業形態をお答えください

1. 通所介護	2. 通所リハビリテーション
---------	----------------

F 3. 貴施設に登録されている利用者の方は何人いますか？（9月1日現在）

人

●貴施設での口腔機能向上の取り組みについてお聞きします。

問 1. 「口腔機能向上」は高齢者の健康、QOL の維持・増進に重要だと思いますか？（○は1つ）

1. 非常に重要である	2. やや重要である	3. あまり重要でない
4. 重要でない	5. わからない	

問 2. 貴施設を運営するうえで口腔機能向上の取り組みは重要だと思いますか？（○は1つ）

1. 非常に重要である	2. やや重要である	3. あまり重要でない
4. 重要でない	5. わからない	

問 3. 「口腔機能向上加算」を算定したサービスに取り組んでいますか？（○は1つ）

1. 現在、取り組んでいる	・・・問3-1へ
2. 近々、取り組む予定である	・・・問3-6へ
3. 検討中である	・・・問3-6へ
4. 今後、取り組む予定があるかも知れない	・・・問3-6へ
5. 全く予定はない	・・・問3-6へ

●問3で「1. 現在、取り組んでいる」とお答えの方にお聞きします。

問3-1. アセスメント（事前、事後の専門職種として）はどなたがしていますか？（○はいくつでも）

1. 歯科医師	2. 保健師	3. 看護師	4. 言語聴覚士
5. 歯科衛生士	6. その他（		）

問3-2. 口腔機能向上の個別計画はどなたが立てていますか？（○はいくつでも）

1. 歯科医師	2. 保健師	3. 看護師	4. 言語聴覚士
5. 歯科衛生士	6. その他（		）

施設見学会のお知らせ

今回、口腔機能向上をサービス提供している事業所様のご理解、協力いただき、現場の見学を実施することになりました。

口腔機能向上サービスの提供をご検討されている事業所様の参考になり、サービス実現につながることができましたら幸いです。

申し込み方法

- 1) 申し込み用紙に、記入してファックスしてください。
- 2) 相談員から、事業所の担当者様へ後日、連絡いたします。
- 3) 相談員からの連絡は、第1・3木曜日の13時から16時になりますが、曜日や時間のご指定がある場合は、申し込み用紙にお書きください。

【お問い合わせ先】

(社) 福岡県歯科衛生士会 (担当: 久保山裕子、天本和子)

電話 092-741-9036

Fax 092-406-9200

※ お問い合わせは 第1・3木曜日 13:00~16:00 にお願ひ致します。

⇒ 裏面に、応募用紙

(社) 福岡県歯科衛生士会
F a x 092-406-9200

平成 22 年度 施設見学実施要領

実施時期 平成 22 年 10 月～12 月

実施内容 口腔機能向上サービス実施状況の見学

申込資格 口腔機能向上サービスについて検討中の事業所

※見学先まで、ご自分で行くことができる方

申込方法 申込書に記入し、福岡県歯科衛生士会にファックス下さい。

※ 受け入れ人数には制限がありますので先着順で調整させていただきます。

※ 見学日につきましては、施設からの指定日になりますので、調整の上、連絡をさせていただきます。ご了承ください。

お申込みは、9 月末日までをお願いいたします。

申込書

事業所名	
住 所	
電 話 FAX	
担当者名	
連絡希望 時間	

ご希望の施設に○印をしてください。

	ディケアセンターおたっしやクラブ東福間 福間市福間町
	生協ディサービス虹の樹 久留米市野中町

(社) 福岡県歯科衛生士会
F a x 0 9 2 - 4 0 6 - 9 2 0 0

(社)福岡県歯科衛生士会 無料職業紹介所 行
 TEL 092-741-9036 FAX 092-406-9200

「口腔機能向上サービスに関する相談窓口」相談票

相談日時	平成	年	月	日
事業所	名称	様		
	住所	福岡県		
	相談者氏名	様		
	連絡先	TEL ()	FAX ()	
相談項目	()	口腔機能向上の対象者の選定等	()	口腔清掃の方法等
	()	食事介助や嚥下体操等	()	口腔機能向上加算の事務処理
	()	歯科衛生士の雇用等	()	職員研修等
	()	その他		
詳しい相談内容				
回答の希望連絡先をご記入ください	電話	()	FAX	()
	E-mail			
<p>* 口腔機能向上に関するお問い合わせは第2・第4火曜日の13:00～16:00にお願いいたします。 * 但し祭日は除きます</p>				

平成 22 年度厚生労働科学研究事業

口腔機能向上研修会報告

	日時	内容	講師	受講者数
第一回	2010 年 8月1日(日) 9:30~16:30	◎介護予防での歯科衛生士の役割 制度と歯科衛生士の役割	九州歯科大学口腔保健学科 教授 千綿 かおる先生	47名
		◎口腔機能向上サービスの実際	福岡県歯科衛生士会 江崎カヨコDH (日本DH会認定DH)	
第二回	2010 年 8月22日(日) 9:30~16:30	◎高齢者の口腔機能 Ⅰ 加齢変化 Ⅱ 摂食嚥下障害の基礎知識	原土井病院 岩佐 康行先生	41名
		◎アセスメント・個別計画 アセスメント実習 口腔機能向上に係る書類作成	福岡県歯科衛生士会 古賀 直子DH (日本DH会認定DH)	
		◎アセスメント・個別計画の実際	福岡県歯科衛生士会 橋爪 和恵DH	
		◎口腔機能向上サービスの個別対応 口腔清掃支援・機能訓練	福岡県歯科衛生士会 原口 公子DH	
		◎介護施設スタッフとの連携	福岡県歯科衛生士会 天本 和子DH (日本DH会認定DH)	

「非就業者歯科衛生士」グループインタビューの総括（福岡県・青森県）

【口腔ケアの人材確保に関して】

歯科衛生士の資格を取得し、歯科診療所・地方自治体・病院等に勤務し、その後結婚・出産で家庭内に留まる事を余儀なくされるが、歯科衛生士としてのプライドは温存している事が多い。しかし、新技術や新薬・新規機器に対しての不安は払拭出来ていない。口腔ケアの人材を確保する場合は、下記の点に留意する事により、歯科衛生士の不足を招くことなく人材が確保出来るものと思われる（歯科衛生士の資格の活用と歯科助手の役割分担を明確に指導する事が前提となる）。

【勤務時間】

勤務体制との関係もあるが、1日の勤務時間を「3～4時間」を1つのブロックとし、全体の勤務時間を数人のグループで調整させ、ローテーションを組むか、所謂、遅番の専任者を採用するかである（遅番の潜在層としては、既婚であるが、子供や面倒を見なければならぬ家族等がない等の状況にある人）。家族等の事を考えなければならない環境なので、「早番」、「遅番」で1日をカバーする。この勤務のコントロールは1つのグループで運営させる事により、グループのコミュニケーションや子供の熱発等に対応出来る。

【勤務地】

通勤時間等を鑑み、通勤は30分以内である。勤務時間で述べた様に、「3～4時間」勤務を想定した場合は通勤時間も含めると、「4～5時間」となる。また、グループが拡大すれば、隣町グループとの連携も可能となり、歯科衛生士同士の調整幅も広げられる。

【給 与】

時間給で勘案すると、福岡では1,200円（交通費込）、青森では800円（交通費込）であった。地域差が大きいので、地域の単価に若干上乘せが可能であれば、良い人材が採用出来ると思う。また「遅番のみ」には、別途手当てが必要。

【技術研修・サポート】

暫くの間、現場のブランクを技術面と精神面でサポートしてあげる事が絶対条件といえる。技術研修は土日開催するのが望ましい。精神面でのサポートは現場でのコミュニケーションを持つ場・時間を確保する事も必要である。

【募集活動】

地域によってかなり多様性が伺われるが、基本としては「ハローワーク」、「折り込みチラシ」、「ミニコミ誌」、ついで「歯科衛生士会の無料職業紹介所」等である。なお、募集に当たってのキーワードは「経験不問・丁寧に指導します」というフレーズは不可欠である。

【口腔ケア】

口腔ケアについては、福岡県・青森県とも非常に関心が高く、積極的に関わることへの熱意が感じられた。

結論として、口腔ケアに対しての講習会の開催（全国）を通じて研磨し、その後、講習会受講者に対してのアプローチも有効性が高いと考えられる。また、緊急性がある場合は、前述の「募集活動」の方法でのアプローチであると考えられる。いずれにしても「歯科衛生士を中心とした待遇や対応」が必要である。

「非就業者歯科衛生士」グループインタビュー

【福岡県】

平成22年8月

「非就業者歯科衛生士」グループインタビューのまとめ

平成22年8月6日～7日の2日間福岡県歯科医師会館に於いて非就業者歯科衛生士の座談会を開催した。年代等を考慮して3グループに区分し、6日は午前と午後、7日は午前のみで実施した結果を報告する。

まず、大前提として「非就業者（歯科衛生士としての仕事以外であれば許容）の歯科衛生士」であったが、実態としては、何らかの形で歯科衛生士の仕事に関与している人が殆どであった。歯科衛生士としての仕事への関与は、パート・アルバイトが全てであり、“社員”はいなかった。この事で、グループインタビューの舵とりを変更し進行させた。

結論的には、

- ① 子育てが終わると「歯科衛生士」としての仕事を探す。「歯科衛生士の仕事が好き」という潜在的なものが感じられ、「歯科衛生士としてのプライド」がある。
- ② 家庭環境・家族構成によっては、既婚の歯科衛生士の両親の「世話」をしなければならぬ境遇も生まれる。しかし、何らかの形で「歯科衛生士の仕事」を続けたいと願望が強い。
- ③ パート等でも1週間に3日程度がベストで、勤務時間については、朝9時～午後4時までで、その後記録に1時間というパターンと、1日の時間が短くかつ、週に3～4日というパターンである。
- ④ 現在夫の扶養家族になっているのが殆どで、不文律として「扶養家族から抜けない程度」が多く見られた。しかし、ゆくゆくは「扶養家族からの脱却」を目指す意識が見え隠れする人も散見された。
- ⑤ 労働意欲としては年齢的に60歳になったら再考する意見と、48歳になったので、扶養家族から脱却すべきか否かを検討しているという意見もあった。

- ⑥ 共稼ぎという視点から、夫は寛大であるが、「扶養家族のままです」という要望が強い。
- ⑦ 結婚後、「出産」「子育て」「子育て」後に再就職（歯科衛生士としてのパート等）する際は、過去の勤務状態や仕事内容が似通っているところを探す傾向で、「未経験でも可」「未経験でも指導します」というコピーがあれば、安心する事が判明した。
- ⑧ 給与については、「扶養家族」という縛りがあるため、時間給で 1,200 円（交通費込み）が支給されれば「職場異動」のモチベーションとしては充分である。つまり、年間総労働時間は 858 時間、71.5 時間／月、18 時間弱／週、が MAX である。この事を念頭に置いておくことが重要である。
- ⑨ 日常生活においては、通常よく見るものとしては（テレビを除く）新聞広告よりも「チラシ」を注視している事が分かった。特に、ミニコミ紙的な、地域情報が掲載されている地域に密着した折り込みチラシに注視していた。また、「再就職」の探し方については、「歯科衛生士会の無料職業紹介」「友達のネットワーク」「折り込みチラシ」「ハローワーク」等が挙げられた。この中で、「友達のネットワーク」は特に信頼性が高いと考えており、勤務先の諸々の情報を加味出来る事が重要と考えている。一方、ネットの利用目的では、「文言検索・意味や解釈について」の調べ物が多くみられた。情報量が多すぎて検索に時間がかかりすぎる、面倒等という発言も聞かれた。
- ⑩ 勤務場所の選定・確定要因としては「雰囲気」を重要視しているが、これは人間関係がうまくいっているかどうか、他の歯科衛生士、看護師、介護士の態度等の気持を見抜く眼力が備わっていると考えると考えられる。(40 歳代になると少なくとも十数年の経験があり、その体得した鋭い感覚・研ぎ澄まされた感性が備わっている)

これらの事を総合的に俯瞰するならば、施設における口腔ケアに関する歯科衛生士の採用については「短時間」「事前の予定」「勤務時間帯の多様化・複数化」「技術指導」「技術的困難のサポート体制」「施設職員との融合策・人的交流の場の創設」がキーワードとなる。また、募集については、「地域に密着した折り込みチラシ」で、募集内容としては重視しているのは、「経験不問・丁寧に指導します」というコピーがあれば安心するとの意見であった。

- ・「短時間」1日の勤務時間を4時間～6時間程度で、1週間に4日程度。
- ・「事前の予定」少なくとも1ヵ月以上前からのスケジュールアップ。
- ・「勤務時間帯の多様化・複数化」始業の勤務時間については、「9時～」「10時～」「午後1時～」の3区分程度を設け、歯科衛生士が急用等で勤務できない状態が発生した場合、歯科衛生士同士の連携でカバーさせる。例えば、前述の3区分で、それぞれの時間帯に各1人が必要であれば、全体で4人～5人程度を雇用(全体の人件費の支払総額は3人分)し、この4～5人で、勤務ローテーションを作らせることにより、「時間調整」「扶養家族控除対象内」の問題や、高齢者の世話の問題解決にもなる。この勤務時間・曜日が重要な要因となる。歯科衛生士であってかつ、主婦業も兼務している。
- ・「技術指導」一旦、現場を離れると再就職の際は不安がつきまとうが、これを払拭するのが技術指導である。これは適宜実施するか、現場にて次第に教えていくかのどちらかであるが、特に配慮しなければならないのが、その場の雰囲気づくりである。
- ・「技術的困難のサポート体制」技術指導を行ったとしても全ての不安が払拭出来たわけではない。「その場その場」でのサポート出来る体制づくりが定着を促進する。
- ・「施設職員との融合策・人的交流の場の創設」パートであろうが施設職員とのギャップをどのようにして気持の融合を図るか、上下関係・横の関係の風通しを良くするかが定着の要因である。特に「女性対女性」であれば、直感的に空気を読み、最悪の場合は「1週間程度」で辞めたいと考える事もある。

「非就業者歯科衛生士」グループインタビュー

発言録【福岡県】

- ◆ 属性: 歯科衛生士の資格を所有する者
- ◆ 実施日: 平成22年8月6日(金曜日)
- ◆ 時間: 10:00～12:00
- ◆ 会場: 福岡県歯科医師会 第3会議室

◆テーマ: 歯科衛生士再就職【福岡県第1グループ】

2010年8月6日(金)10:00~12:00

インビュー項目	A (37歳)	B (40歳)	C (40歳)	D (39歳)	E (38歳)
歯科衛生士としての通算勤務年数	16年	8年	14年	9年	12年
訪問歯科業務	経験あり	なし	経験あり	なし	経験あり
現在の就業状況	パート勤務(受付)	パート勤務(歯科衛生士業務) 月2~3回	パート勤務(歯科衛生士業務)	パート勤務(歯科衛生士業務)	パート勤務(歯科衛生士業務)
再就職する際の条件	今までの経験を活かせれば理想と考えます。(口腔機能向上、舌のトレーニング、矯正、表情筋のトレーニング、癖の改善など)	就業時間	子どもがいるので時間帯。遅くまで働けない	訪問歯科業務、介護施設業務	特になし
再就職する際の探し方	ハローワーク 友人・知人からの紹介 インターネット 歯科衛生士会の無料職業紹介	ハローワーク 友人・知人からの紹介 歯科衛生士会の無料職業紹介	友人・知人からの紹介 出身学校の紹介 歯科衛生士会の無料職業紹介	ハローワーク 歯科衛生士会の無料職業紹介	
パソコンの有無とインターネット使用时间・ネットでの就職先を探した経験	パソコン・有 インターネット・30分(日) インターネットで探した経験・有	パソコン・有 インターネット・2時間(日) インターネットで探した経験・有	パソコン・有 インターネット・10~20分(日) インターネットで探した経験・有	パソコン・有 インターネット・20分(日) インターネットで探した経験・無	パソコン・有 インターネット・10分(日) インターネットで探した経験・有
同居家族	2人 母	8人 配偶者、子ども5人、父	4人 配偶者、子ども2人	7人 配偶者、子ども2人、父、母、兄弟姉妹	5人 配偶者、子ども3人
自己紹介(割愛)					

◆テーマ：歯科衛生士再就職【福岡県第1グループ】

2010年8月6日(金)10:00～12:00

インタビュー項目	A (37歳)	B (40歳)	C (40歳)	D (39歳)	E (38歳)
<p>歯科衛生士としての就業状況</p>	<p>現在は歯科の受付を1週間に1回行っている。</p>		<p>訪問歯科業務を行っている。 (介護予防・乳幼児健診)</p>	<p>病院勤務(口腔外科)で9:00～15:30まで働いている。</p>	<p>歯科診療所勤務。ユニットは4台で歯科衛生士が3名。院長の意向としては歯科衛生士3名体制で夜までやりたい。 子どもがいるので、夜までの業務は難しい。(まわりのサポートがないとダメ)あと2～3名非常勤がいれば働きやすくなる。 他の歯科診療所への転職も考えているが、面接に行っても年齢で落とされる。若い子の方が院長の思い通りに動くため！ 年齢が高くなると、例えば子どもが熱を出したりすると休まなければならなくなり、院長としては迷惑なのでは…</p>
<p>年齢が高くなったり(おばさんと呼ばれる)と思う年齢は？</p>	<p>いままで出来ていたことが出来なくなったりした時</p>	<p>40歳を過ぎたら</p>	<p>求人票の年齢を見て…昔は「30歳まで」の制限が、今では35歳、40歳までに変わってきている。定年まで働きたい。</p>	<p>人に言われた時</p>	<p>30歳を過ぎたら。 若い者(20代)から見るとおばさんである。おばさんにならないうために若い子の仕事内容を吸収するようにしている</p>

◆テーマ：歯科衛生士再就職【福岡県第1グループ】

2010年8月6日(金)10:00～12:00

インビュー項目	A (37歳)	B (40歳)	C (40歳)	D (39歳)	E (38歳)
再就職するための面接や勤務先の状況	矯正歯科16年間でやってきましたので、次に歯科衛生士として働く時も技術を活かしたい。 以前の勤務先では、先生が技術を持っていたので、衛生士のサポート次第で診療所が良くなっていった。サポートしなけられればという気持ちになった。		院長がワンマンだと難しい。院長と歯科衛生士が話し合って採用するところは上手いってしているような気がする。 コミュニケーションは大事。なかには、試用期間(3ヶ月)はおとなしくしておいて、正社員になったら変貌した子がいた。 院長とスタッフが仲良くしていない所は嫌。	診療所勤務だと人数が少ないので、人間関係が難しい。スーパージ打ち等、スタッフ数が多いところなら、さほど人間関係は問題にならない。	歯科診療所の面接にいかっても雰囲気はわからない。勤務すれば1日で雰囲気はわかる。 採用され勤務してから雰囲気が悪いことに気がついてもどうしようもない。どうやったら皆と上手くやっていけるかを考える。
歯科衛生士として勤務	歯科衛生士として働きたい。誰かのサポートがしたい。職業訓練校に行きたい。訓練校では皮膚組織やアロマセラピーを専攻し、衛生業務に活かしたい。嚥下訓練を行いたい。 歯科衛生士としてフリーで働きたい。 現在はスキルダウンのカバーとしてフライヤー、ワイヤー等を購入して手を使っている(訓練している)。	現在、7ヶ月の子どもがいるため、歯科衛生士の仕事を月に2～3回しか行えていない。 子どもは保育園に入っているが、パートで働きたい。朝から午後3時、4時頃まで。	子どもの集まりで保護者(お母さん)に歯科衛生士会がいた。歯科衛生士会の組織自体を知らない人がある。 現在、仕事をしているので、今後思いをしているので、今後も歯科衛生士業務を続けたい。	歯科衛生士としてではなく、訓練校に行って他のことを学びたい。 学んだ後、その訓練を活かして就職したい。	求人誌に長く掲載されているところに就職しても長くは続かないと思う。 歯科衛生士同士でコミュニケーションを取って、転職先の情報を教え合う。 診療所は国民年金を扱っている方が多い。厚生年金の方が良い。 若い時はこの条件を無視していたが、現在は重視する。

◆テーマ: 歯科衛生士再就職【福岡県第1グループ】

2010年8月6日(金)10:00~12:00

インタビュー項目	A (37歳)	B (40歳)	C (40歳)	D (39歳)	E (38歳)
<p>現場復帰の不安</p>	<p>矯正しか知らないのでは勤まるかが不安。歯科衛生士の訓練を受けたい。器材を使っている研修はないので、それを望む。</p>	<p>この間、診療所のユニットを見たが、最新式になってきた。このユニットを扱えるかが不安である。</p>			
<p>扶養状況と将来の展望</p>		<p>現在は扶養である。将来は正社員で働きたい。</p>	<p>現在は扶養である。将来は正社員で働きたい。</p>	<p>現在は扶養ではない。主人とは別会計である。働いた分が自分で使えるお金である。</p>	<p>現在は扶養である。子どもが大きくなったら正社員で働きたい。</p>
<p>「口腔ケア」実施を知らせる方法</p>	<p>同窓会で情報を流す。(結婚して住所が変わってしまっている可能性あり) チラシ(新聞の折り込み)であれば主婦が見る。 自然食品を扱っているお店に掲示する。</p>				

終了

「非就業者歯科衛生士」グループインタビュー

発言録【福岡県】

- ◆ 属性: 歯科衛生士の資格を所有する者
- ◆ 実施日: 平成22年8月6日(金曜日)
- ◆ 時間: 14:30~16:30
- ◆ 会場: 福岡県歯科医師会 第3会議室